

PRIMEQUEST

Intel 製

デュアルチャネル LAN カード(25GBASE)
クアッドチャネル LAN カード(25GBASE)
デュアルチャネル LAN カード(100GBASE)

ファームウェア (NVM) アップデート手順書

V4.30

●目次

1. 本書について	3
2. 必要な部材	3
3. 対象製品	3
4. 対象ファームウェアおよびファームウェアの修正内容	3
5. 注意事項	4
6. 作業概要と作業時間(兼チェックシート)	5
7. 対象カードのファームウェア版数確認	6
8. 対象カードのファームウェア版数アップデートと確認	10

1. 本書について

本書は、デュアルチャンネル LAN カード(25GBASE)、クアドチャンネル LAN カード(25GBASE)、クアドチャンネル LAN カード(100GBASE) の作業手順について記載しています。

本書に従い作業をお願い致します。

- ・ファームウェア(NVM)版数の確認方法
- ・ファームウェア(NVM)アップデート方法

2. 必要な部材

以下の部材をあらかじめ準備し、作業前に不足が無いことを確認してください。

項	用意するもの	備考
1	ファームウェア(NVM)アップデート手順書	本書 『CA92344-5846-01.pdf』
2	ファームウェア(NVM)アップデートツール	ISO イメージ 『PQ-lne-E810-V430.iso』

3. 対象製品

品名	型名	カード名称
デュアルチャンネル LAN カード(25GBASE)	MC*0JFEE*	E810-XXVDA2
クアドチャンネル LAN カード(25GBASE)	MC*0JFEF*	E810-XXVDA4
デュアルチャンネル LAN カード(100GBASE)	MC*0JFEH*	E810-CQDA2

4. 対象ファームウェアおよびファームウェアの修正内容

提供時期	NVM 版数	修正内容
2024/9	4.30	・初版

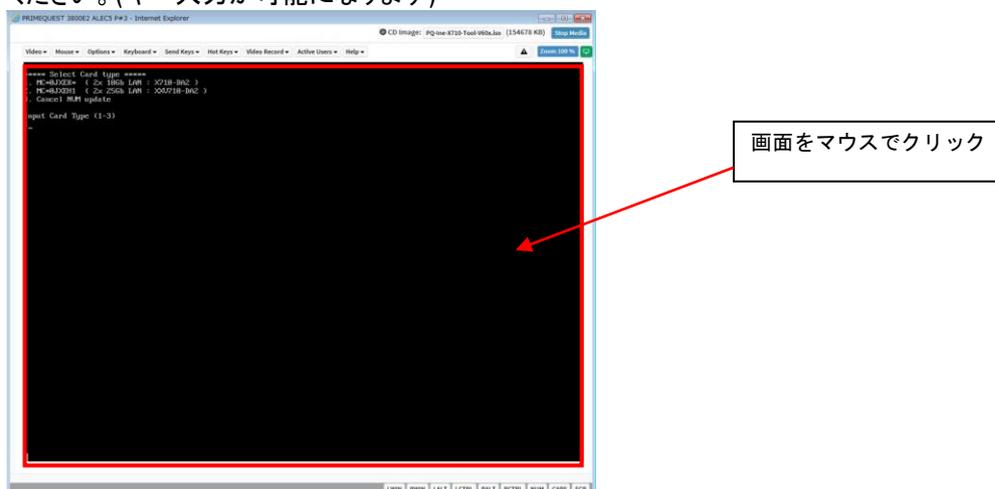
5. 注意事項

- (1) 作業中の予期せぬ電源切断およびリセット等の禁止
ファームウェアアップデート中に予期せぬ電源切断やリセット等を行うと、各カードが動作しなくなることがあります。

手順の中で明記されているタイミング以外での電源の切断およびシステムリセットは、絶対に行わないでください。

- (2) Video Redirection(HTML5)操作時の注意点および回避策

- ① HTML5 を使用しツールを起動させ数字を記入する前に、別 Window(例:MMB Web-UI 等)をアクティブにし、その後 HTML5 の Window に戻るとキー入力ができなくなる事象が起こります。
回避策:事象発生時に Backspace キーを 2,3 回押してください。(キー入力が可能になります)
- ② アップデートツールを実行中にキーボードからの入力が出来なくなった場合、一度画面をマウスでクリックしてください。(キー入力が可能になります)



- (3) 同じ製品の LAN カードが複数枚搭載されている場合
本ツールは、同一パーティションに搭載されている同じ製品（部品仕様）の LAN カードに対して、ファームウェアのアップデートを実施します。1 枚ごとの指定は出来ません。
- (4) ツール起動のためのパーティションの事前停止
本ツールによるアップデートを行う際、事前にアップデート対象パーティションの停止を行ってください。
- (5) ファームウェア版数 NVM3.20 のカードで、SFP+,SFP28 モジュールを搭載しケーブルを接続していない状態で起動した場合、“A parallel fault was detected” のメッセージを出力しアップデートツールの起動に失敗する場合があります。
その場合、iRMC Web-UI メニューバーにある電源ボタンから即時電源オフを選択して電源を落としてください。その後カードに搭載している SFP+,SFP28 モジュールを外すか、ケーブルを接続してリンクアップした状態でアップデートツールを起動してください。

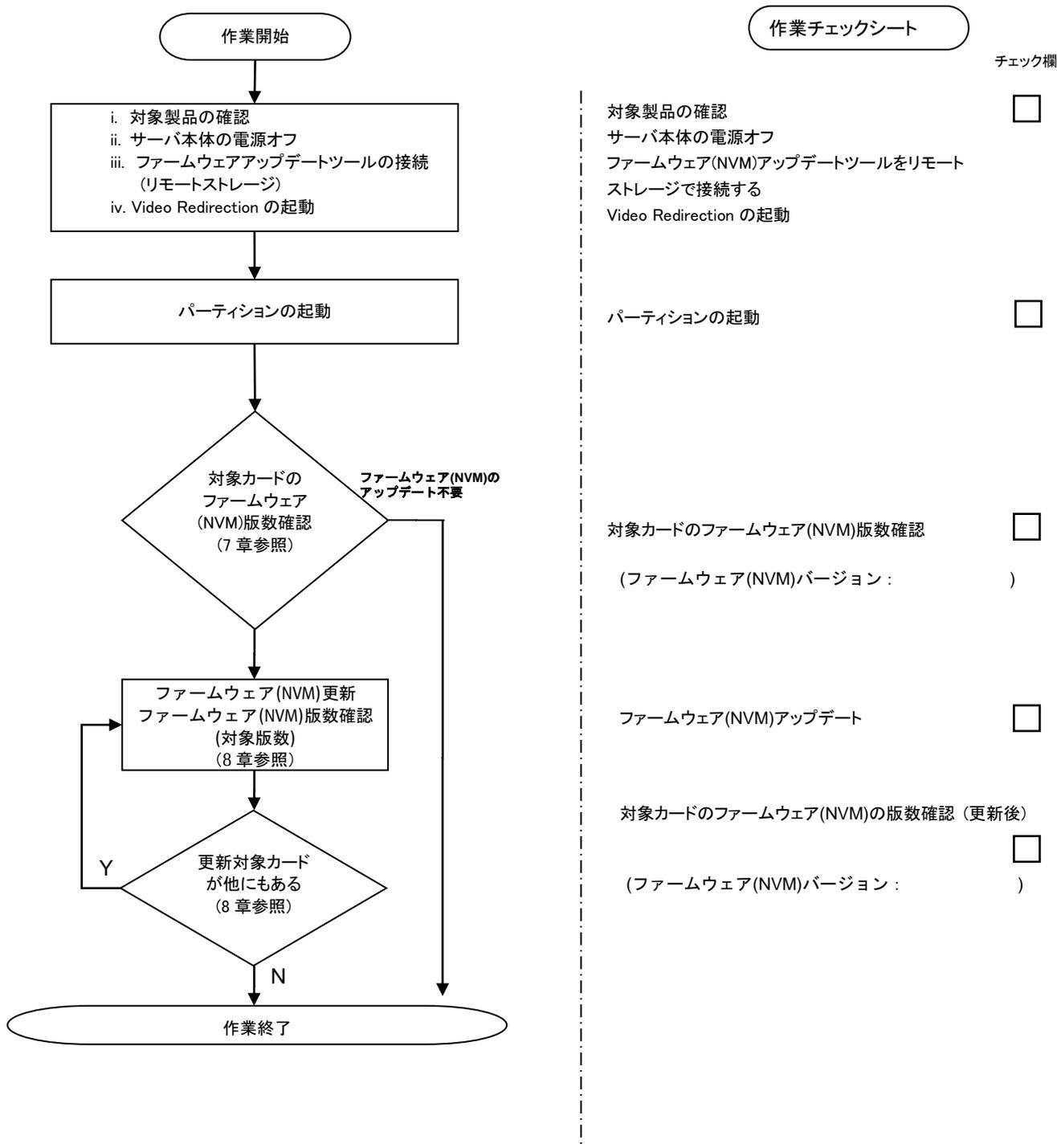
6. 作業概要と作業時間(兼チェックシート)

ファームウェアのアップデートに必要な事前準備および更新作業手順のフローです。

ファームウェアアップデート作業時間 : 20分 + 起動1回分

例 : 64GBメモリ搭載時、起動1回分は約8分

※システムの停止、事前準備および正常稼働動作の所要時間は含みません。



7. 対象カードのファームウェア版数確認

PRIMEQUEST の電源投入、ISO イメージのリモートストレージへの接続方法の詳細については、各 PRIMEQUEST シリーズ本体のマニュアルを参照してください。

(1) アップデート対象カードを搭載したパーティションの電源を切断します。

(2) アップデートツール(ISO イメージ)をリモートストレージに接続します。

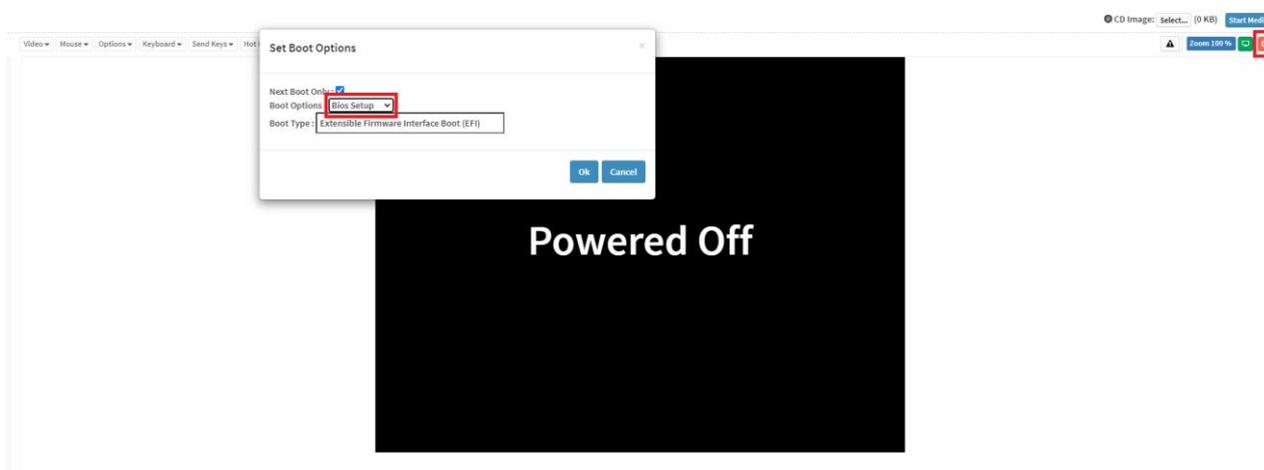
HTML5 の場合

[ビデオリダイレクション]画面の CD image から[Select]または[Browse file]をクリックし、アップデートツール(ISO イメージ)を選択します。[Start Media]をクリックして ISO イメージをマウントします。

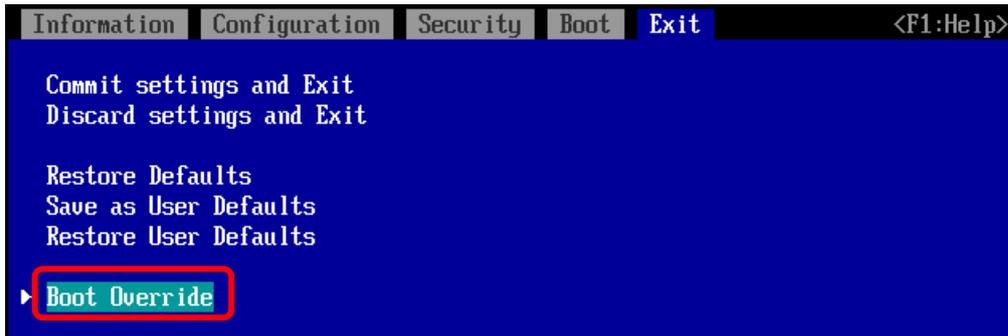
(3) アップデート対象カードを搭載したパーティションの電源を投入します。

[ビデオリダイレクション]画面の[Power]メニューから[Boot Options]を選択します。[Set Boot Options]の画面が開いたら、[Boot Options]を[Bios Setup]にして[Ok]をクリックします。

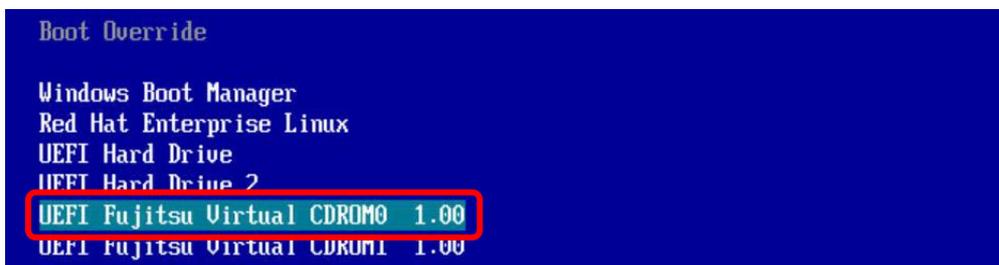
[システム電源ボタン]をクリック、または[Power]メニューから[Power on Server]を選択します。



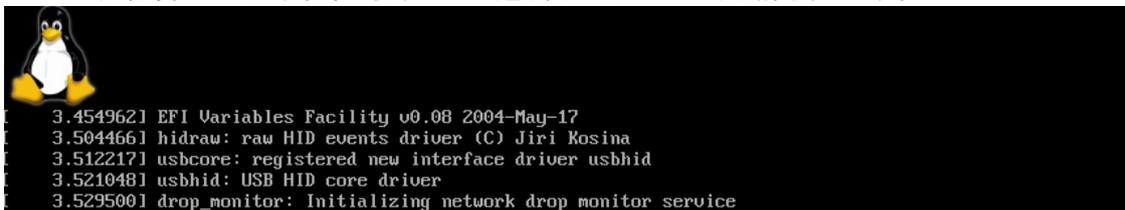
- (4) BIOS 初期メニューが起動したら Exit タブへ移動し[Boot Override]を選択します。



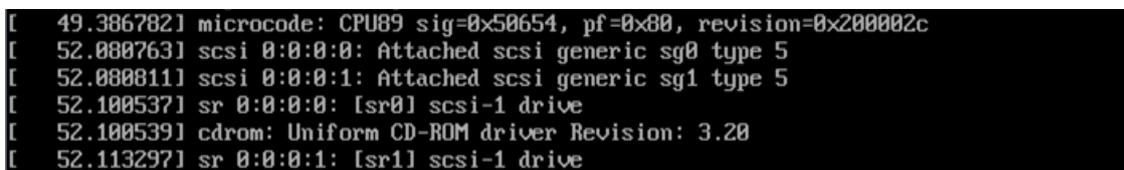
- (5) アップデートツール(ISO image)をリモートストレージ接続したドライブを選択し<Enter>キーを押します。



- (6) CD からブートし、ツールを起動します。
パーティションの初期化処理完了後、リモートストレージのデータ転送が完了しツールの起動が開始されるまでに1~2分程度かかります。その後、下図の通り表示されツール起動開始します。



- (7) ツールが起動すると、"[root@localhost FWup]#"プロンプトが表示されます。
環境によっては、以下の画面(例)で停止する場合があります。
その際は、Enter キーを入力することでプロンプトが表示されます。



また、ファームウェアアップデートツール起動時に、以下のメッセージが出力されることがあります。
Request for unknown module key 'xxxxxxx' err 11 (xxxxxxxx は文字列
本メッセージが出力されてもツールの動作上問題ありません。メッセージは無視してください。

(8) `./fwup.sh` [Enter] を実行します。

```
[root@localhost FWup]# ./fwup.sh
```

(9) 搭載されている Intel 製 E810 LAN カードの一覧が表示されます。

```
===== BUS ===== NVM (hex) ===== MAC =====
01) E810-XXVDA2 [00:024:00:00]: 2.48 (2.30) B49691B067A0
02) E810-XXVDA2 [00:094:00:00]: 4.32 (4.20) B49691B6563C
```

```
***** Select Card type *****
```

1. MC*0JFEE1 (2x 25GBASE : E810-XXVDA2)
2. MC*0JFEF1 (4x 25GBASE : E810-XXVDA4)
3. MC*0JFEH1 (2x 100GBASE : E810-CQDA2)
4. Cancel NVM update

```
Input Card Type (1-4)
```

(10) 現在の NVM 版数を確認します。

[表示内容]

項	情報	内容
1	BUS	カード番号
2		カード名称
3	NVM(hex)	カードの NVM 版数
4	MAC	MAC アドレス

```
===== BUS ===== NVM (hex) ===== MAC =====
01) E810-XXVDA2 [00:024:00:00]: 4.32 (4.20) B49691B067A0
02) E810-XXVDA2 [00:094:00:00]: 4.48 (4.30) B49691B6563C

***** Select Card type *****
1. MC*0JFEE1 ( 2x 25GBASE : E810-XXVDA2 )
2. MC*0JFEF1 ( 4x 25GBASE : E810-XXVDA4 )
3. MC*0JFEH1 ( 2x 100GBASE : E810-CQDA2 )
4. Cancel NVM update

Input Card Type (1-4)
```

①カード番号

②カード名称

③NVM 版数

④MAC アドレス

- (11) 対象製品の NVM 版数が全て 4.48(4.30)の場合は、ファームウェアアップデートは不要です。(12)に進みます。
それ以外は 8 章に進みファームウェアアップデートを行います。
- (12) ファームウェアアップデートの必要がない場合は、サーバの電源を落とします。
Input Card type に” 4” (Cancel NVM update)を入力し[Enter]キーを押します。

```
===== BUS ===== NVM (hex) ===== MAC =====
01) E810-XXVDA2      [00:024:00:00]:   4.48 (4.30)    B49691B067A0
02) E810-XXVDA2      [00:094:00:00]:   4.48 (4.30)    B49691B6563C

**** Select Card type ****
1. MC*0JFEE1 ( 2x 25GBASE : E810-XXVDA2 )
2. MC*0JFEF1 ( 4x 25GBASE : E810-XXVDA4 )
3. MC*0JFEH1 ( 2x 100GBASE : E810-CQDA2 )
4. Cancel NVM update

Input Card Type (1-4)
4
```

- (13) “shutdown -h now” [Enter] を実行し、パーティションの電源を落とします。

```
[root@localhost FWup]# shutdown -h now
```

- (14) アップデートツール(ISO イメージ)をリモートストレージから切断します。

8. 対象カードのファームウェア版数アップデートと確認

- (1) Input Card Type に変更したいカードの番号を入力し、[Enter]キーを押します。

```
**** Select Card type ****
1. MC*0JFEE1 ( 2x 25GBASE : E810-XXVDA2 )
2. MC*0JFEF1 ( 4x 25GBASE : E810-XXVDA4 )
3. MC*0JFEH1 ( 2x 100GBASE : E810-CQDA2 )
4. Cancel NVM update

Input Card Type (1-4)
```

- (2) Select NVM Version のメニューが表示されますので、変更したいファームウェア版数の番号を入力し、[Enter]キーを押します。

```
**** Select NVM Version ****
1. NVM : 4.20
2. NVM : 4.30
3. Cancel NVM update

Input Number (1-3)
```

- (3) ファームウェアの適用が開始されます。

```
Intel(R) Ethernet NVM Update Tool
NVMUpdate version 1.39.56.9
Copyright (C) 2013 - 2023 Intel Corporation.

Config file read.
Config file doesn't have any OROM components specified for device 'E810_XXVDA2_LP_0_SEC'. Tool will use current
device's combo set for the OROM update.
Config file read.
Config file doesn't have any OROM components specified for device 'E810_XXVDA2_LP_0_SEC'. Tool will use current
device's combo set for the OROM update.
Inventory
[00:023:00:00]: Intel(R) Ethernet Converged Network Adapter X710-2
Flash inventory started
Shadow RAM inventory started
Alternate MAC address is not set
Shadow RAM inventory finished
Flash inventory finished
```

- (4) "[root@localhost FWup]#"プロンプトが表示されたら終了です。

```
Device already inventoried.
Reboot is required to complete the update process.
[root@localhost FWup]#
```

※"[root@localhost FWup]#"プロンプトが表示される前のメッセージは、カードの種類、ファームウェア(NVM)版数によって異なります。

- (5) 対象製品の NVM 版数が更新されていることを確認します。
 "./fwup.sh"を入力し[Enter]キーを押します。

```
[root@localhost FWup]# ./fwup.sh

===== BUS ===== NVM (hex) ===== MAC =====
01) E810-XXVDA2 [00:024:00:00]: 4. 48 (4. 30) B49691B067A0
02) E810-XXVDA2 [00:094:00:00]: 4. 48 (4. 30) B49691B6563C

**** Select Card type ****
1. MC*0JFEE1 ( 2x 25GBASE : E810-XXVDA2 )
2. MC*0JFEF1 ( 4x 25GBASE : E810-XXVDA4 )
3. MC*0JFEH1 ( 2x 100GBASE : E810-CQDA2 )
4. Cancel NVM update

Input Card Type (1-4)
```

NVM 版数が更新されていること

- (6) 他に更新を行う製品がある場合は(1)に戻ります。
- (7) 対象製品の更新が全て完了した場合は、パーティションの電源を落とします。
 Input Card type に"4" (Cancel NVM update)を入力し[Enter]キーを押します。

```
===== BUS ===== NVM (hex) ===== MAC =====
01) E810-XXVDA2 [00:024:00:00]: 4. 48 (4. 30) B49691B067A0
02) E810-XXVDA2 [00:094:00:00]: 4. 48 (4. 30) B49691B6563C

**** Select Card type ****
1. MC*0JFEE1 ( 2x 25GBASE : E810-XXVDA2 )
2. MC*0JFEF1 ( 4x 25GBASE : E810-XXVDA4 )
3. MC*0JFEH1 ( 2x 100GBASE : E810-CQDA2 )
4. Cancel NVM update

Input Card Type (1-4)
4
```

- (8) "shutdown -h now" [Enter] を実行し、パーティションの電源を落とします。

```
[root@localhost FWup]# shutdown - h now
```

- (9) アップデートツール(ISO イメージ)をリモートストレージから切断します。

以上で作業は終了です。

デュアルチャネル LAN カード(25GBASE)
クアドチャネル LAN カード(25GBASE)
デュアルチャネル LAN カード(100GBASE)
ファームウェア(NVM)アップデート手順書

CA92344-5846-01

発行日 2024年09月

発行責任 エフサステクノロジーズ株式会社

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。